

### 課題の概要

- 課題名 「産業牽引型イノベーション創出若手人材養成」
  - 総括責任者名 「森 秀樹」
  - 機関名 「国立大学法人 岐阜大学」
- (実施予定期間： 平成22年度～平成26年度)

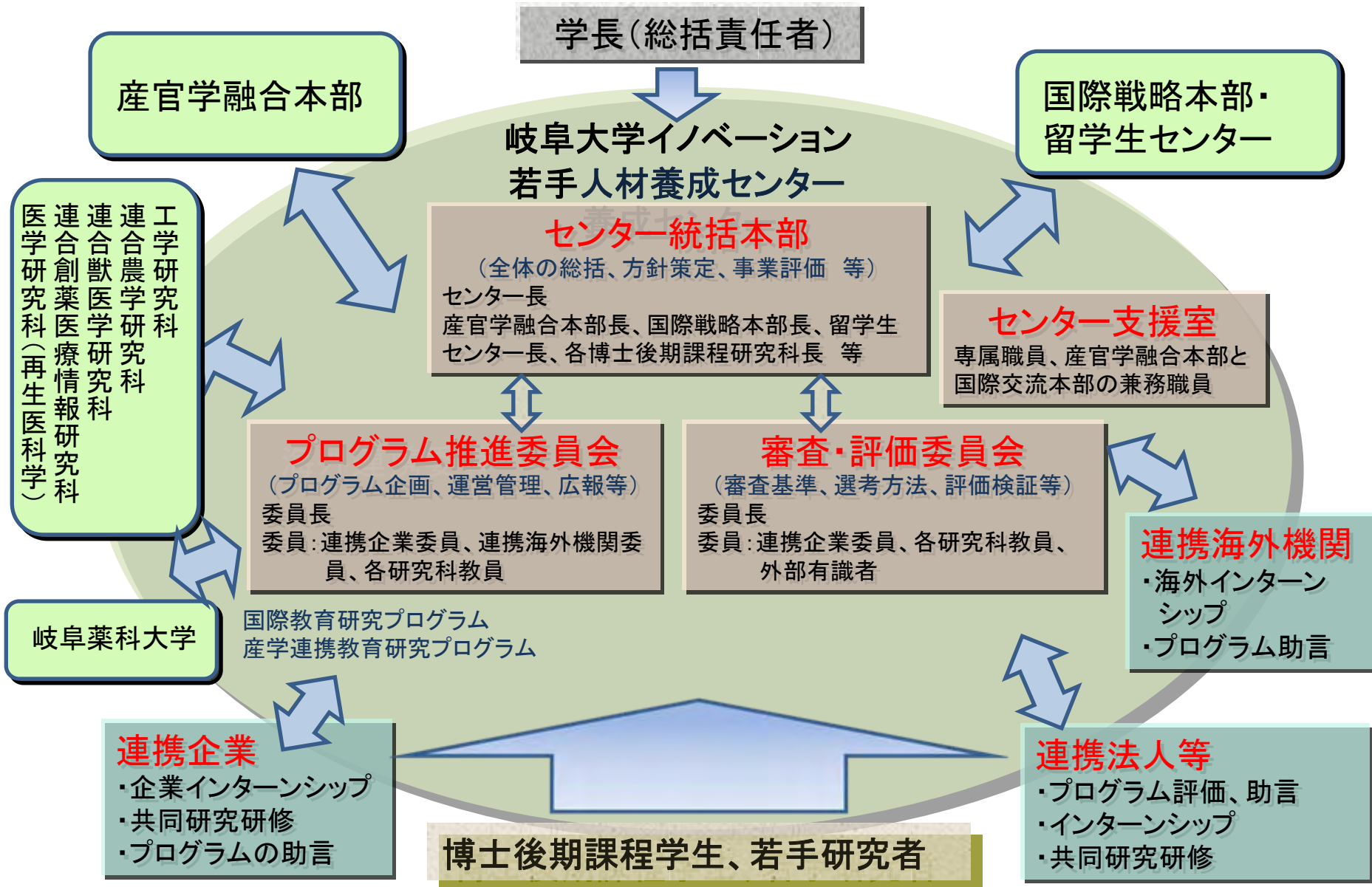
機関の現状
<p>博士後期課程学生やポストクの人材育成は各研究室での徒弟制度的な指導のもとで行われているため、広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につけるに至らない。この問題の解決を狙い、博士後期課程学生にはインターンシップ(1単位)を実施しているが期間が短い。また、国際的な研究活動の支援に向けた「国際戦略本部：学術交流協定大学派遣奨学金制度」や「工学振興基金：短期留学派遣助成」を実施しているが、予算の制約上、十分なキャリアパス支援にはなっていない。さらに、研究重視の教育のため、企業等への就職希望が多くなく、このためにキャリアパスの選択肢が限られる等の問題がある。産官学融合本部で地域企業との交流を実施しているが、若手の研究人材育成の組織的なプログラムとなっていない。また、多くの留学生は日本での就職を希望するが困難な状況があり、組織的で効果的な支援が課題である。</p>

イノベーション人材養成システムの概要
<p>自動車、航空機、ロボット、セラミックス、バイオ、医療等の飛騨・美濃・尾張地域の産業の牽引に必要な、マネジメント力、コミュニケーション力、協調性、創造性を備え、国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につけた研究人材の養成を目的とする。「イノベーション若手人材養成センター」を設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。実践プログラム(9-12ヶ月)では、学内外から選抜した若手研究者(毎年24名程度)にイノベーションスキルプログラムを実施後に、国際教育研究プログラムまたは産学連携教育研究プログラムを行う。イノベーションスキルプログラム(6ヶ月)ではアイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語教育を行う。国際教育研究プログラムでは海外企業や国際交流協定大学に派遣(3-6ヶ月)する。産学連携教育研究プログラムでは、人材育成協力協定を締結した企業へ派遣(3-6ヶ月)する。プログラムを通じて、地域産業を牽引でき、国際的な視野を持った高度産業研究人材を養成する。修了時には、本センターにて面談等で評価を行う。</p>

ミッションステートメントの概要																														
<p>プログラム期間の数値目標を以下に示す。養成人数は博士後期課程学生人数とポストク(括弧内)を示す。実施期間終了時まで、企業に輩出する養成者の合計は58名となる。</p>																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>養成人数 (ポストク)</th> <th>養成人数 (ポストク)の 累積数</th> <th>産業界への輩出 人数 (ポストク)</th> <th>輩出の累積数 (ポストク)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年目</td> <td>18 (2)</td> <td>18 (2)</td> <td>10 (1)</td> <td>10 (1)</td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>20 (4)</td> <td>38 (6)</td> <td>12 (2)</td> <td>22 (3)</td> </tr> <tr> <td>3年目(中間時)</td> <td>20 (4)</td> <td>58 (10)</td> <td>12 (2)</td> <td>34 (5)</td> </tr> <tr> <td>4年目</td> <td>20 (4)</td> <td>78 (14)</td> <td>12 (2)</td> <td>46 (7)</td> </tr> <tr> <td>5年目(終了時)</td> <td>20 (4)</td> <td>98 (18)</td> <td>12 (2)</td> <td>58 (9)</td> </tr> </tbody> </table>		養成人数 (ポストク)	養成人数 (ポストク)の 累積数	産業界への輩出 人数 (ポストク)	輩出の累積数 (ポストク)	1年目	18 (2)	18 (2)	10 (1)	10 (1)	2年目	20 (4)	38 (6)	12 (2)	22 (3)	3年目(中間時)	20 (4)	58 (10)	12 (2)	34 (5)	4年目	20 (4)	78 (14)	12 (2)	46 (7)	5年目(終了時)	20 (4)	98 (18)	12 (2)	58 (9)
	養成人数 (ポストク)	養成人数 (ポストク)の 累積数	産業界への輩出 人数 (ポストク)	輩出の累積数 (ポストク)																										
1年目	18 (2)	18 (2)	10 (1)	10 (1)																										
2年目	20 (4)	38 (6)	12 (2)	22 (3)																										
3年目(中間時)	20 (4)	58 (10)	12 (2)	34 (5)																										
4年目	20 (4)	78 (14)	12 (2)	46 (7)																										
5年目(終了時)	20 (4)	98 (18)	12 (2)	58 (9)																										



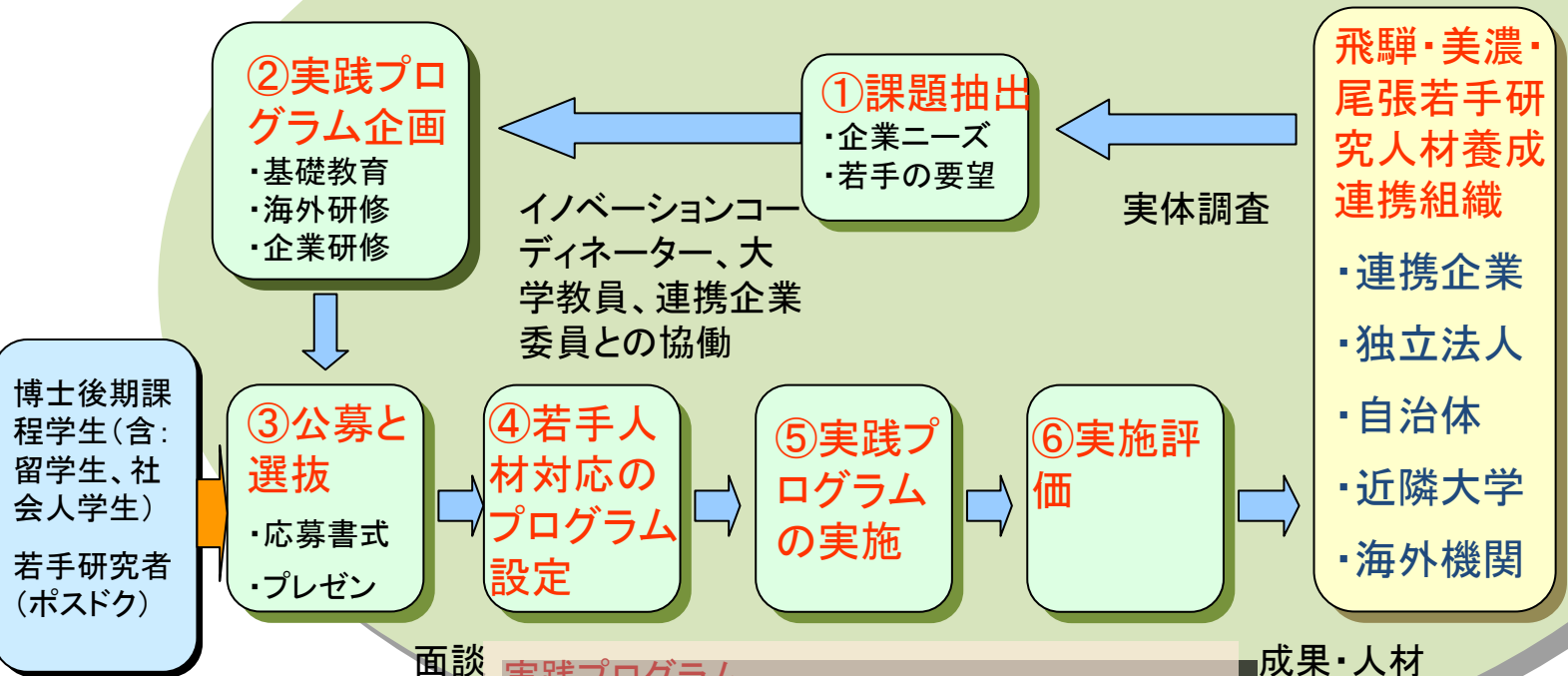
# 産業牽引型イノベーション創出若手人材養成実施体制



# 産業牽引型イノベーション創出若手人材養成の実施内容

自動車、航空機、ロボット、セラミックス、バイオ、医薬等の分野に強い飛騨・美濃・尾張地区で広い視野を持ち、地域に貢献する産業牽引型高度産業人材を養成する

## 岐阜大学イノベーション若手人材養成センター



**参加意義**

**企業:**

- ①新技術とイノベーション人材の獲得
- ②新事業の牽引若手人材:

**大学:**

- ①キャリアアップ
- ②新しいキャリアデザイン

①若手人材養成システムの構築

②地域社会への貢献

**実践プログラム**

- ①イノベーションスキルプログラム (6ヶ月)  
エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語、アイデアトレーニングキャンプ
- ②企業派遣コースまたは海外派遣コース (3-6ヶ月)

成果・人材の供給



## ミッションステートメント

- 課題名 「産業牽引型イノベーション創出若手人材養成」
- 総括責任者名 「森 秀樹」
- 機関名 「岐阜大学」
- (実施予定期間： 平成22年度～平成26年度)

### (1) イノベーション人材養成システムの概要

自動車、航空機、ロボット、セラミックス、バイオ、医薬等の飛騨・美濃・尾張地域の産業の牽引に必要な、マネジメント力、コミュニケーション力、協調性、創造性を備え、国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につけた人材の養成を目的とする。「岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター」を設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。学内外から選抜した若手研究者に、イノベーションスキルプログラム(6ヶ月)の実施後に、国際教育研究プログラムまたは産学連携教育研究プログラムの実践プログラム(3-6ヶ月)を行う。イノベーションスキルプログラムとして、アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語を行う。国際教育研究プログラムでは海外の国際交流協定大学に派遣する。産学連携教育研究プログラムでは、人材養成協力協定を締結した企業へ派遣する。プログラムを通じて、地域産業を牽引でき、国際的な視野を持った高度産業技術を有する研究人材を養成する。修了時には、産学共同イノベーション創出若手人材養成センターでの研修報告プレゼンテーション等で評価を行う。

### (2) 3年目における具体的な目標

	養成対象者	養成期間 (ヶ月)	到達レベル	養成人数 (累積数)	産業界への 輩出人数 (累積数)
3年目	博士課程(後期) 在籍者	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野 と実社会のニーズ を踏まえた発想を 身につける	58	34
	ポストドクター等	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野 と実社会のニーズ を踏まえた発想を 身につける	10	5

#### ・中間報告時までに構築するイノベーション人材養成システムの内容

「岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター」を設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。本センターには、センター統括本部、プログラム推進委員会、評価・審査委員会を設置し、学内の各機関からの委員と連携企業委員により実践プログラムの開発、審査・評価を行なう。

#### ・中間報告時までに作成する実践プログラムの内容

プログラムとして、学内外から公募した若手研究者にイノベーションスキルプログラム(アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語)を行った後、海外派遣(国際教育研究プログラム)または企業派遣(産学連携教育研究プログラム)の実践プログラムを実施する。

### (3) 実施期間終了時における具体的な目標

	養成対象者	養成期間 (ヶ月)	到達レベル	養成人数 (累積数)	産業界への 輩出人数 (累積数)
終了時	博士課程（後期） 在籍者	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野 と実社会のニーズ を踏まえた発想を 身につける	98	58
	ポストドクター等	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野 と実社会のニーズ を踏まえた発想を 身につける	18	9

#### ・ 終了時まで構築するイノベーション人材養成システムの内容

「岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター」を設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。本センターには、センター統括本部、プログラム推進委員会、評価・審査委員会を設置し、学内の各機関からの委員と連携企業委員により実践プログラムの開発、審査・評価を行なう。

#### ・ 終了時まで作成する実践プログラムの内容

プログラムとして、学内外から公募した若手研究者にイノベーションスキルプログラム（アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語）を行った後、海外派遣（国際教育研究プログラム）または企業派遣（産学連携教育研究プログラム）の実践プログラムを実施する。

### (4) 実施期間終了後の取組

実施期間終了後は、学内処置及び協働企業等からの支援によって、本システムの継続と発展を図る。同時に、全学体制への取り組みとして次期中期計画での位置づけを明確にしてその拡大を図る。

### (5) 期待される波及効果

若手研究人材が、国際的な広い視野や実社会のニーズを踏まえた発想を身につけることで、大学や参画する研究機関そのものの活性化につながる。また、従来は大学に就職先を限定していた考えが世界の研究機関や企業の開発機関へと広がることで、それらの組織への人材供給の効果が生じる。とりわけ、飛騨・美濃・尾張地域での産業を牽引する人材を供給することで、この地域の開発技術力が強化でき、国際競争力が高まる。また、国際共同研究や企業共同研究は、対象となる若手研究人材のみならず、研究グループで指導する大学院博士前期課程学生や学部学生に、キャリアパスを考える契機を与えるとともに、異分野や海外との共同研究の進め方を学ぶ機会になる。